

松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年8月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年8月1日～8月31日）

○調査期間：令和2年9月3日～令和2年9月24日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業20企業、製造業22企業、卸売業15企業、小売業23企業

飲食業17企業、サービス業45企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計142企業>

○調査項目：8月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

概況

業況DIはマイナス幅の拡大 水準DIはマイナス幅の縮小

1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲53.3）よりマイナス幅が0.3ポイント拡大し、▲53.6となった。業種別では、小売業、製造業ではマイナス幅が縮小した。卸売業、飲食業、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大した。

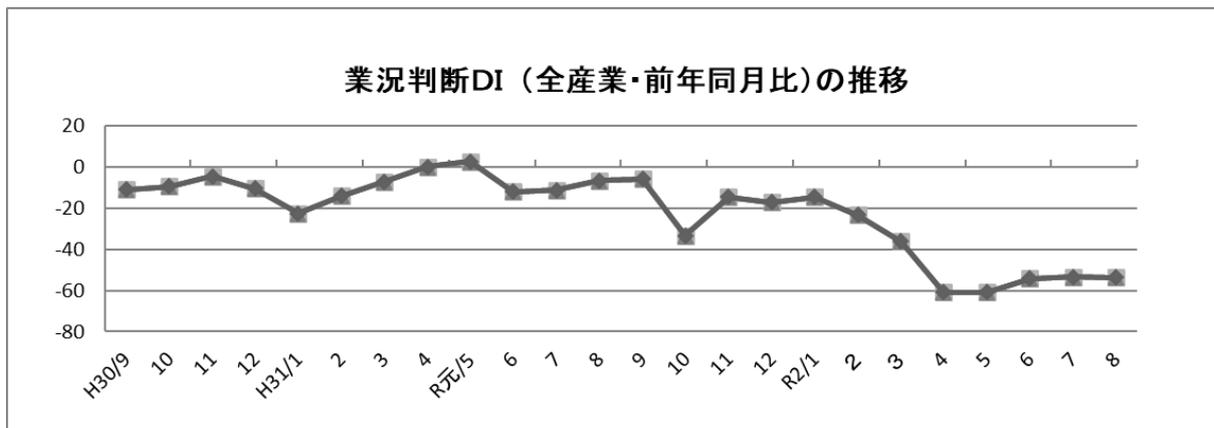
○全産業合計の水準DIは、前月（▲54.8）よりマイナス幅が1.9ポイント縮小し、▲52.9となった。業種別では、小売業、製造業、サービス業はマイナス幅が縮小した。卸売業、飲食業、建設業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	7.0 (5.2)	32.4 (36.3)	60.6 (58.5)	▲53.6 (▲53.3)	7.0 (3.7)	33.1 (37.8)	59.9 (58.5)	▲52.9 (▲54.8)
建設業	0.0 (0.0)	60.0 (68.2)	40.0 (31.8)	▲40.0 (▲31.8)	5.0 (0.0)	65.0 (77.3)	30.0 (22.7)	▲25.0 (▲22.7)
製造業	9.1 (0.0)	22.7 (28.6)	68.2 (71.4)	▲59.1 (▲71.4)	9.1 (0.0)	18.2 (28.6)	72.7 (71.4)	▲63.6 (▲71.4)
卸売業	13.3 (8.3)	13.4 (41.7)	73.3 (50.0)	▲60.0 (▲41.7)	13.3 (8.3)	13.4 (33.4)	73.3 (58.3)	▲60.0 (▲50.0)
小売業	21.7 (12.5)	17.4 (12.5)	60.9 (75.0)	▲39.2 (▲62.5)	17.4 (12.5)	17.4 (12.5)	65.2 (75.0)	▲47.8 (▲62.5)
飲食業	0.0 (0.0)	5.9 (15.4)	94.1 (84.6)	▲94.1 (▲84.6)	0.0 (0.0)	11.8 (15.4)	88.2 (84.6)	▲88.2 (▲84.6)
サービス業	2.2 (7.0)	48.9 (41.8)	48.9 (51.2)	▲46.7 (▲44.2)	2.2 (2.3)	48.9 (44.2)	48.9 (53.5)	▲46.7 (▲51.2)

()内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計
「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

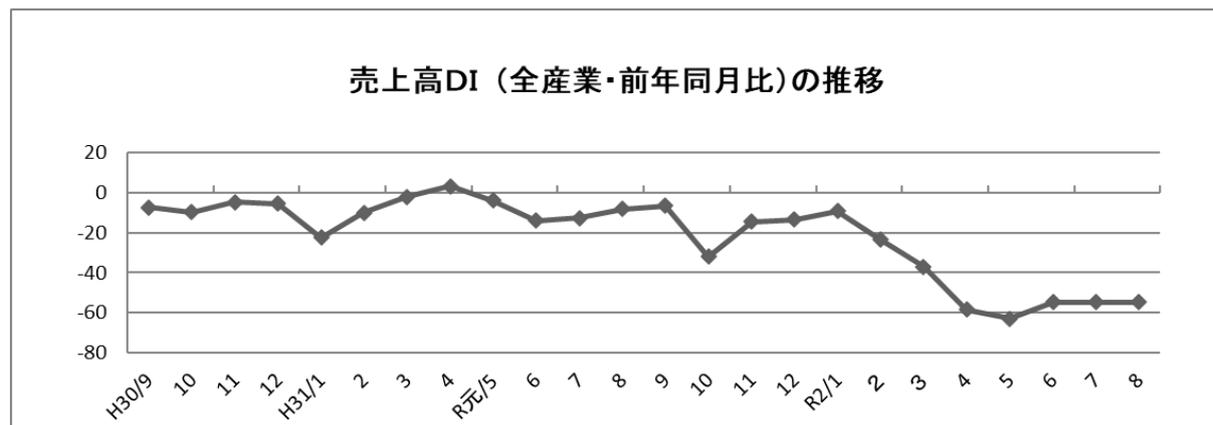


2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲54.8）よりマイナス幅が0.1ポイント拡大して、▲54.9となった。業種別に見ると、小売業、製造業、はマイナス幅が縮小し、卸売業、飲食業、建設業、サービス業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲ 8.0	▲ 6.6	▲ 32.0	▲ 14.6	▲ 13.3	▲ 9.3	▲ 23.4	▲ 37.0	▲ 58.6	▲ 63.0	▲ 54.8	▲ 54.8	▲ 54.9
建設業	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2	▲ 29.2	▲ 31.8	▲ 35.0
製造業	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2
卸売業	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0
小売業	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0	▲ 32.0	▲ 66.7	▲ 43.5
飲食業	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1
サービス業	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7

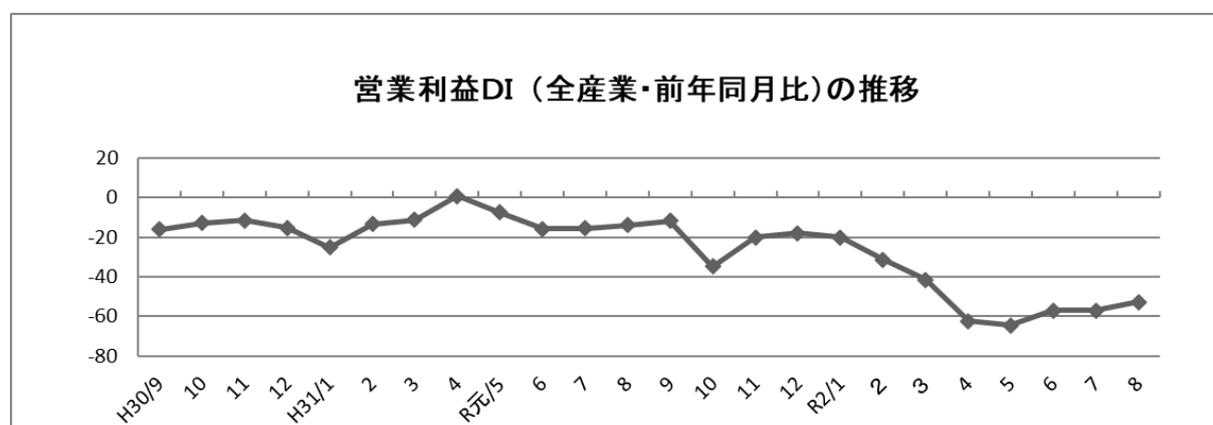


3. 営業利益D I（前年同月比）

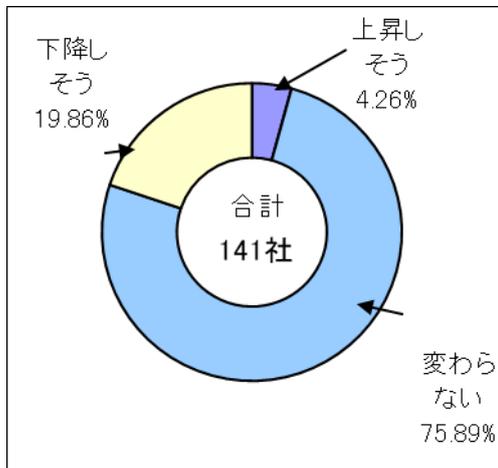
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲57.1）よりマイナス幅が4.3ポイント縮小して、▲52.8となった。業種別に見ると、製造業、小売業、卸売業はマイナス幅が縮小した。飲食業、サービス業、建設業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全 体	▲ 14.0	▲ 11.8	▲ 34.7	▲ 20.0	▲ 17.8	▲ 20.0	▲ 31.3	▲ 41.5	▲ 62.5	▲ 64.5	▲ 57.0	▲ 57.1	▲ 52.8
建設業	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8	▲ 37.5	▲ 36.4	▲ 40.0
製造業	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1
卸売業	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7
小売業	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0	▲ 32.0	▲ 62.5	▲ 43.5
飲食業	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0	▲ 86.7	▲ 84.6	▲ 94.1
サービス業	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

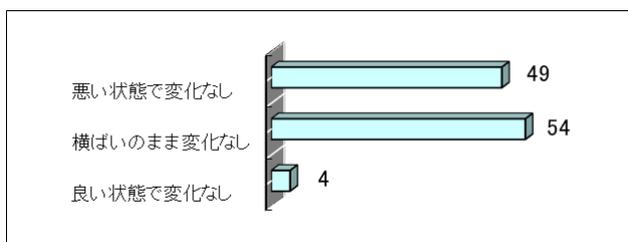


○令和2年9月～令和2年11月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ1.67ポイント減少し4.26%、「下降しそう」が1.62ポイント減少し19.86%となった。業種別の見通しDIは建設業(0.0)、製造業(▲22.7)、卸売業(0.0)、小売業(▲17.4)、飲食業(▲41.2)、サービス業(▲13.4)であった。

➡「上昇しそう」では「公共事業の発注があるため」(建設業)「8月は過去最低だったため。もしこの状態が続くようなら事業継続しないほうがよい」「生産調整の終了のため」(製造業)「欧州向けは改善中、米国向けは未回復のため」(卸売業)「昨年9月は増税前の需要があり、今年は厳しいと思うが、総体的な客数は増えているため」(小売業)「コロナ禍による失業者の増加で職業訓練受講者数の増加が見込まれるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

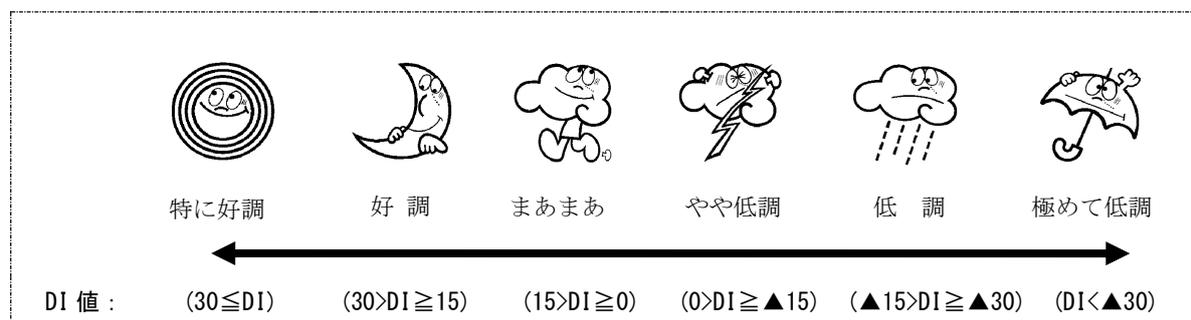
➡「変わらない」では「受注分があるため」(建設業)「先が見えない中で前向きな話がないため」(製造業)「新型コロナウイルス感染症の影響のため」(卸売業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「新型コロナウイルス感染症が治まるまで、静かに待つしかないため」(建設業)「去年の9～12月と比べて、仕掛りが少ないため」「秋のイベント中止・延期、オンライン化による需要減」(製造業)「野菜の高値、気候変動の影響で食欲不振のため」(卸売業)「去年まであった10月の大口イベントが今年はないため」「新型コロナウイルス感染症で人出が見込めないため」(小売業)「政治の変化、新型コロナウイルス感染症の状況が悪化していると感じるため」(飲食業)「人が自由に動ける状態にならないため」「新型コロナウイルス感染症も終息せず、Go Toトラベルキャンペーンの効果が期待できないため」「業務の打ち合わせができず先に進めない状況のため」(サービス業)「新型コロナウイルス感染症の影響が続くため(同意見9件)」といった声が寄せられた。

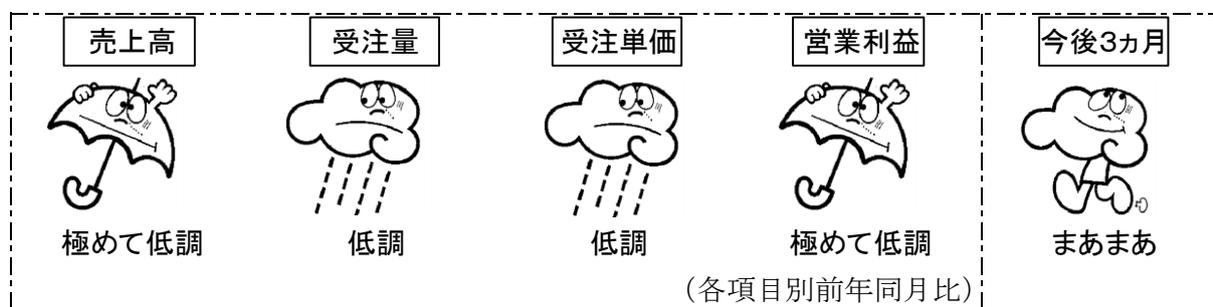


業種別景況

<DI | 君の景況判断>



1. 建設業



【項目別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	0.0	▲4.0	4.0	0.0	▲4.0	16.6	▲12.5	▲5.0	▲35.0	▲18.2	▲29.2	▲31.8	▲35.0
受注量	4.0	4.0	20.0	4.0	▲4.0	0.0	▲16.7	▲25.0	▲55.0	▲36.4	▲29.2	▲27.3	▲25.0
受注単価	4.0	▲4.0	0.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲8.3	▲5.0	▲15.0	▲18.2	▲20.8	▲18.2	▲25.0
営業利益	0.0	▲8.0	▲4.0	▲4.0	0.0	▲4.2	▲29.1	▲30.0	▲40.0	▲31.8	▲37.5	▲36.4	▲40.0
見通し	▲4.0	▲4.0	4.0	0.0	▲8.0	4.2	▲12.5	▲5.0	▲25.0	▲13.7	▲4.2	▲4.6	0.0

<経営者の目・見方・etc>

建築工事

- ・業界等の集まりがなくなり、情報収集ができない。
- ・家庭や職場での感染が高まっていて、いよいよ身近に迫ってきたのかと不安である。終息が見通せない状態では、万一の時の対応策も必要になっている。

土木

- ・全ての業種でコロナ禍の影響が大きく、低迷から脱出できず苦しんでいる。日本経済の具体的対応策が浸透しておらず、この状況が長期化していく様子なので、大変心配している。
- ・消費税減税が、困っている人に確実に届く支援策だと思う。

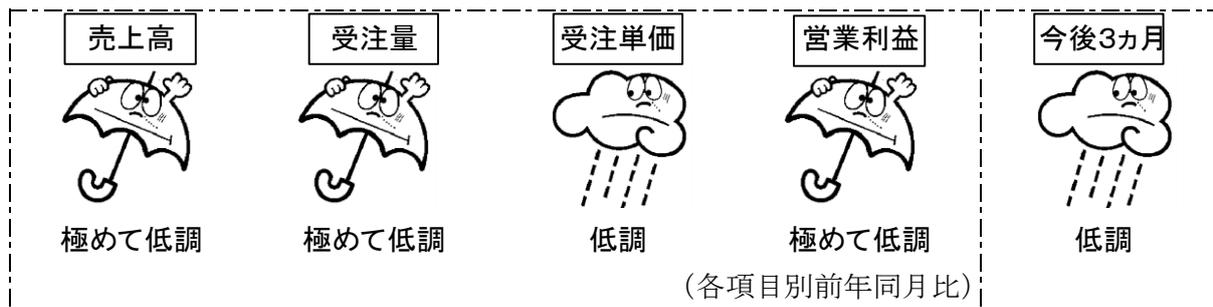
鉄工

- ・同業者の様子を聞くと、だいぶ達成感が出ている感じである。実際の様子だけでなく、気分的に不景気感によるダンピングが心配である。

電気工事

- ・新型コロナウイルス感染症関係で、民間の設備投資等が凍結になった。
- ・空調工事など官庁の公共工事が重なって、今のところ順調である。

2. 製造業



【項目別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0	▲ 70.6	▲ 76.2	▲ 68.2
受注量	▲ 10.0	4.5	▲ 10.5	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 41.0	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 75.0	▲ 70.6	▲ 81.0	▲ 59.1
受注単価	▲ 10.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 14.2	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 25.0	▲ 25.0	▲ 35.3	▲ 42.9	▲ 27.3
営業利益	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0	▲ 82.3	▲ 90.5	▲ 59.1
見通し	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 27.3	▲ 4.5	4.8	▲ 22.8	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 30.0	▲ 35.3	▲ 23.8	▲ 22.7

<経営者の目・見方・etc>

印刷

- ・印刷ブローカーが、印刷機も持たず、地域での雇用もろくにせず、地域の印刷物を安値で請け負ってダラダラと県外に地元のお金を垂れ流している現状がある。広告宣伝費をかけながら入り込んでいるようである。地域内経済循環を考えるとなく、担当者によっては目先の利益で地域を細らせてしまうことに気づけない者もいるようである。

精密機器組立

- ・7～9月が底と見ているが、冬に向けて感染が拡大すれば厳しい業績が続くだろう。

紙器

- ・少しずつ動き出してはきている状況だが、なかなか先が見えない状況。

小型情報機器組立

- ・新型コロナウイルス感染症の終息を待つのみ、耐えるだけ。

金属塗装

- ・顧客がお盆、夏休みで稼働が少ない分も加わってか、受注が少なく、売上が減少した。

3. 卸売業

売上高  極めて低調	受注量  極めて低調	受注単価  まあまあ	営業利益  極めて低調	今後3ヵ月  まあまあ
---	---	---	---	--

(各項目別前年同月比)

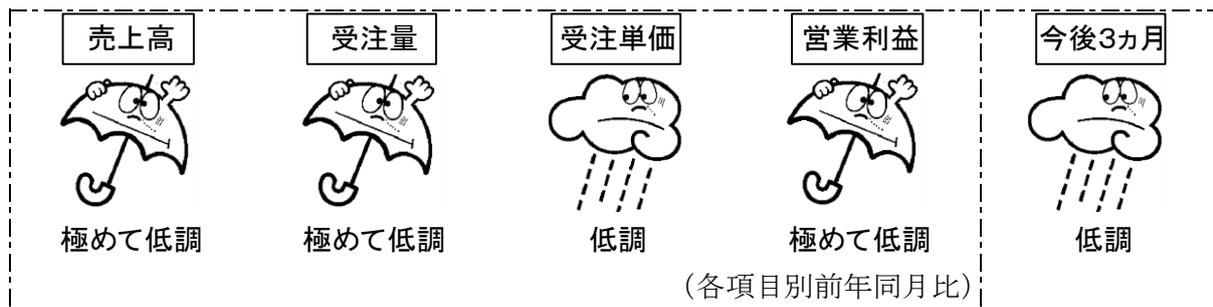
【項目別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7	▲ 53.8	▲ 41.7	▲ 60.0
販売客数	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5	▲ 30.8	▲ 25.0	▲ 33.3
販売客単価	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 27.3	▲ 15.4	▲ 33.4	13.3
営業利益	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9	▲ 53.8	▲ 50.0	▲ 46.7
見通し	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5	▲ 7.7	▲ 8.3	0.0

<経営者の目・見方・etc>

- | | |
|--------|---|
| 土産品 | ・観光業界の8月はトップシーズンだが、売上等のすべてが大幅に落ち込み、大変厳しい状況。年内は雇用維持しつつ、来春に向け新規事業を進めていこうと思案中。 |
| 魚介類 | ・お盆明けは Go To トラベルキャンペーンも不発だった。 |
| 青果 | ・依然として会議や出張は自粛ムード。特に外食需要が厳しく、地区行事祭など行っておらず、景気低迷となっている。量販店の販売は7月の曇天長雨の影響で単価高となったこともあり好調だった。 |
| 青果卸小売業 | ・新型コロナウイルス感染症の影響と暑さで、スーパーでの買い物が多く、小売店に足を向けることが少ない気がする。お店の前の道路で車の渋滞がみられ、お客様が車を止められないということもあった。 |
| 金属製品 | ・高炉メーカーも休止していた炉を稼働することとなったり、価格も値上げ傾向へ動き出したり、変化はあるものの、依然鉄鋼の流通は低迷している。自動車、産機、建機、建築ともに勢いある業界は見当たらない。 |
| 機械工具 | ・8月はお盆休み、猛暑もあり、低調な月となった。 |

4. 小売業



【項目別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	6.7	13.3	▲39.3	▲21.9	▲6.7	▲23.4	▲25.0	▲46.1	▲50.0	▲72.0	▲32.0	▲66.7	▲43.5
販売客数	0.0	0.0	▲42.9	▲25.0	▲13.3	▲6.7	▲35.7	▲61.5	▲62.5	▲68.0	▲44.0	▲54.1	▲30.4
販売客単価	3.4	3.3	▲35.8	▲15.6	10.0	▲16.7	3.6	▲26.9	▲25.0	▲28.0	▲12.0	▲37.5	▲21.7
営業利益	▲10.0	10.0	▲46.4	▲28.1	▲16.7	▲36.7	▲35.7	▲46.2	▲54.2	▲68.0	▲32.0	▲62.5	▲43.5
見通し	0.0	▲26.6	▲10.7	▲9.4	▲3.3	▲26.6	▲53.6	▲61.6	▲45.8	▲32.0	▲20.0	▲25.0	▲17.4

<経営者の目・見方・etc>

印章

・月末近くになって観光バスや修学旅行生を見かけるようになった。Go Toトラベルキャンペーン関係のスタンプが数億円発注されたそうだが、地方の個店には無縁だった。

印章・刃物研ぎ
洋菓子店

・修学旅行の中学生が多くみられるようになったが、売上に繋がらない。
・全体的に菓子業界は景気が良いと聞く。他の飲食業の方も新型コロナウイルス感染症を機に、いろいろな見直しを含め、地域にとっての在り方を考えている。今はまだ大変だが前向きに考えて行動する方が増えてきたと感じる。

和菓子
生鮮食品

・新商品開発、販売をした。
・飲食だけの話ではなく、こんな所までと思う事があり、本当に経済が早く元に戻るようにと願う。

婦人服

・8月末に百貨店より大手アパレルが撤退して、人材もブランドの文化も失われてしまったと思う。活気や未来への楽しみ、良い商品が、コロナ禍の後どれほど残るのかと思う。平凡な当たり障りのないものが溢れた後、良いものが復活すると思う。

化粧品

・観光客が少しずつ増えてはいるが、今後は昨年までのようなインバウンドも含め、期待はできない。地元のお客様に魅力を感じていただける店づくり、街づくりが大切だ。

住宅機器
自転車
陶磁器

・先が見えない。
・少しずつ客足は伸びてきたが、売上にはつながらない状態。
・お盆の帰省や観光の自粛を求める声もあって、例年に比べれば県外者の入込は少なかったが、それでも市街地では久しぶりに多くの歩行者や県外ナンバー車を見かけることができた。お盆の帰省が少なかった分、敬老の日商戦が盛り上がるのではないかと予測がある。

ギフト商品・カレンダー・うちわ

・特に飲食業の業種で廃業された方がでているとの話を聞く。色々な関連ですべてがまわらなくなってきている。原点から構築再検討が必要と思われる。

5. 飲食業

売上高	受注量	受注単価	営業利益	今後3ヵ月
				
極めて低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調	極めて低調

(各項目別前年同月比)

【項目別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	▲26.6	▲31.3	▲76.5	▲43.8	▲20.0	▲31.2	▲47.0	▲92.9	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1
販売客数	▲26.6	▲37.5	▲70.6	▲43.8	▲13.4	▲25.0	▲47.0	▲92.9	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1
販売客単価	▲20.0	▲18.7	▲17.6	▲18.7	▲20.0	▲18.7	▲23.5	▲57.1	▲69.2	▲81.3	▲66.7	▲61.5	▲64.7
営業利益	▲20.0	▲43.7	▲82.4	▲50.0	▲40.0	▲37.5	▲52.9	▲85.7	▲92.3	▲100.0	▲86.7	▲84.6	▲94.1
見通し	▲13.3	▲12.5	▲5.9	▲6.2	▲13.3	▲6.3	▲47.1	▲71.4	▲46.2	▲18.7	▲26.6	▲23.1	▲41.2

<経営者の目・見方・etc>

料理

・猛暑と新型コロナウイルス感染症で県外のお客様が来ず、いつもの8月とは違った。

・結局、Go To トラベルキャンペーンの効果は、市内では見られなかった。特に夜間の営業は芳しくなかった。お客様を迎え入れる店舗としてはウェルカムなのに、市民の反応が県外客に対して冷たかったように思う。

郷土料理

・Go To トラベルキャンペーンの政策の割には、他の地域からの来店も少なく、売上も前年比50%にとどまった。お盆も前年までのような賑わいはなかった。

食堂

・新型コロナウイルス感染症の影響で地域の行事が全て中止となってしまうため、慰労会、二次会、宴会が全てなくなり苦しい状況。

・業種柄、季節の変動で人の動きが違うと思う。

・新型コロナウイルス感染症の感染者が県内で増えているためか、来店客が減少している。お盆休みも例年と違い閑散としていた。

寿司

・本来であれば繁忙月ではあるが、観光客の減もあり、特に駅前は閑散とした感すらある。一方で特定の業態では昨年を上回る業態もあり、徐々にお客様の動向が明確になりつつある。今後は明確になりつつあるお客様の動向の一步先に行く提案が必要であると思う。また、地域として何か特色ある取り組みなどができないか?と思う。

居酒屋

・若者が休みを利用して県外から来ていたので、新型コロナウイルス感染症の拡散が起き、増々悪い状況を生み出した。

洋風居酒屋

・松本駅前で閉店する店が増えていると聞く。

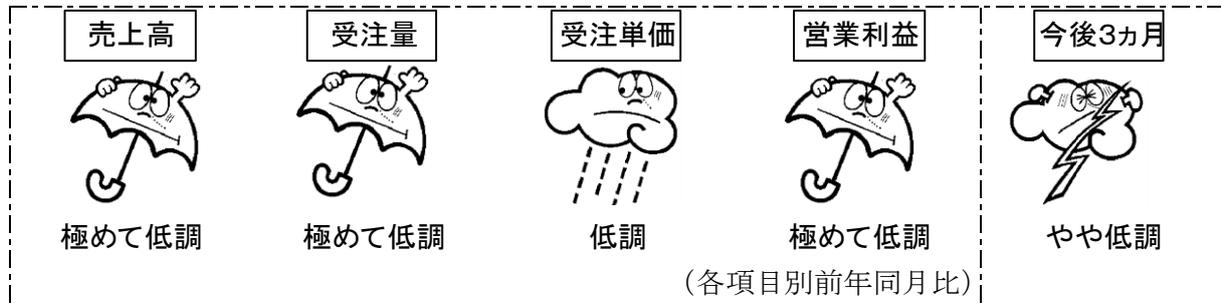
そば

・思ったより売上が落ち込まなかった。他県ナンバーをよく見かけたし、他県の方のお客様がよく来店していた。対策はしているが、自分に感染するのも時間の問題かもしれない。

・徐々には人の動きが戻りつつあるが、忍耐強くがまんして耐えるしかない。

・周りの店舗の廃業に非常に心が痛む。店舗、自宅等々が水害で流されたのではないことを思うと、なおさら廃業に追い込まれる人々の心痛はいかばかりか。コロナ禍で死者が出ないことを願います。頑張りましょう、もう少し！！と

6. サービス業



【項目別DIの推移】

	元年8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
売上高	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4	▲ 65.9	▲ 44.2	▲ 46.7
販売客数	2.0	▲ 14.9	▲ 40.4	0.0	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 8.9	▲ 32.5	▲ 59.1	▲ 54.5	▲ 63.4	▲ 46.5	▲ 44.5
販売客単価	6.0	▲ 6.3	▲ 25.5	2.3	▲ 2.2	4.3	▲ 2.2	▲ 16.2	▲ 31.8	▲ 36.4	▲ 39.1	▲ 25.6	▲ 20.0
営業利益	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1	▲ 63.5	▲ 41.9	▲ 46.7
見通し	▲ 12.0	▲ 14.8	▲ 2.1	▲ 7.0	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 40.0	▲ 44.2	▲ 34.1	▲ 20.5	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 13.4

<経営者の目・見方・etc>

自動車整備・
板金塗装

・まだまだ終息の見込みがつかない新型コロナウイルス感染症で、県内ではこれからがピークになってくるのでは、と不安になる。社員も、どこにも出かけられストレスが溜まってきているようだ。一刻も早い終息を祈るばかりだ。

機械設計

・今年は海外出張ができない。県外でも自粛していると聞いている。来年になればできるか未定だそうだ。

ソフトウェア

・統合型のシステムを外注委託の様式で進める案件はすでにない。新型コロナウイルス感染症の影響も業種によってはあるが、来期に向けて新しい基盤整備の動きも見える。クラウドを基盤とし、自社エンジニアによる小規模な改善フローを常時適用する形が多い。

システムサポート

・中小企業様の設備投資意欲の減退に伴い、商談の先送りが散見している。当面は我慢が続くと思われる。

タクシー

・上高地方面の観光地は、お盆休みを挟む中旬で、前年の8割程の客数があったが、上旬、下旬は少なかった。

旅館

・首都圏のお客が多いのでGo Toトラベルキャンペーンの東京除外は大きかった。

温泉旅館

・前年同月と比べると依然7割程度の売上だが、この先ゆっくりと売上が上がると思う。新型コロナウイルス感染症と上手に共存できることが生き残っていく時代だと思うので、努力して生き残れるよう頑張りたい。

観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症により県外客の移動自粛の影響が、各企業に浸透している。観光やスポーツ大会、ビジネスの動きがない。 ・東京をはじめ、全国で新型コロナウイルス感染症の感染拡大と、Go To トラベルキャンペーンから東京が除外されたため、お盆を除いて客足は途絶えた。8月は昨年の中半以下の売上になってしまった。地震や大雨の影響は薄れたものの、キャンプ場の熊による被害が出て、それが影響しているのかもしれない。
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> ・8月は最盛期であり、地域全体でもそれなりの賑わいは見られた。今年の下況下でありがたかったことは、連泊者の増加、お客様の住んでいる地域で罹患者がでており迷惑をかけられないとキャンセルされた方、この二点でもお客様の心配りに敬服した。
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> ・単価の安いホテルでは、Go To トラベルキャンペーンでもわざわざ泊まるお客様は少なく、あるから使う、という事が多かった。ビジネス客には効果は少ない。
リラクゼーション 測量・建設コンサル タント業	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で、外出自粛をしている人がいる。 ・7月の梅雨前線豪雨による災害の測量・設計に追われた。こういう時、担い手不足を痛感するが、「国土強靱化3か年緊急対策」が2020年度で終了することもあり、先行きが不透明。安易に増員することもできない。
ホームクリーニング・ リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> ・密を避けるためにイベントを開催できず、ホームクリーニングの売上減が顕著になってきた。Go To トラベルキャンペーンも東京都の除外で期待していた売上には程遠かった。
介護サービス ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・政府の今後の変化が気になる。また、厚労省の政策の動向はどうなるか。 ・8月は来店数、売上高ともに前年を下回った。ホテルの利用が激減した。今後は業態変更も視野に入れながら、新商品の開発なども手掛けていく予定である。
教育業	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休みはあるが、今年は短く、イベント等もないため、特に変わらない。